

USR: ユーザ管理システム

- ユーザ ID の登録、各種オプションの設定、ジョブスケジュール等、システム全体の環境を管理するためのモジュールです。
- システム担当者が利用することを想定しています。

セキュリティ・承認権限メニュー

- ユーザ ID マスター保守
- ユーザグループマスター
- ユーザメニューマスター
- ユーザセッション履歴照会
- テーブル変更履歴照会
- 承認役職マスター、グループマスター
- 承認ルールマスター
- 個別承認権限マスター

セットアップ関連メニュー

- 採番関連マスター
- ユーザオプションマスター
- ユーザロケーションマスター
- ユーザキャプションマスター
- ユーザ帳票タイトルマスター
- ユーザ帳票オプションマスター
- Eメール管理マスター
- システム機能別ユーザメッセージマスター
- 階層構造定義マスター
- 横展開定義マスター
- 期間比較定義マスター
- 国別、年別休日マスター
- 休日パターンマスター
- テーブルコントロールマスター
- フォーム別・ユーザ別動作指定マスター

締め・その他メニュー

- 年次繰越
- 入力期間制御マスター
- 本締めチェック制御マスター
- データベースセッション管理
- データベースバックアップ
- ディレクトリオブジェクト作成
- データ転送、受入
- ユーザデータ交換処理マスター
- 会社間マスターデータコピー
- 汎用データ照会

セキュリティに配慮した統合ユーザ管理

- Plaza-i は全モジュールで共通のユーザ ID を利用しています。
- ユーザ認証については、①パスワード暗号化、②ログオンに指定回数以上失敗した場合の強制終了、③指定回数以上強制終了された場合のユーザ ID 無効化、④パスワード使用可能期間の設定、⑤パスワード変更履歴チェック回数の指定、⑥パスワード複雑性の設定(最低文字数、文字数字混在)など、基本的セキュリティ基準をクリアしています。
- Windows の Active Directory による LDAP 認証にも対応していますので、いわゆるシングルサインオンを実現しています。OS 認証のパススルー、上記で説明した Plaza-i による AP(アプリケーション)認証の利用もしくは併用も、オプションにより選択可能です。

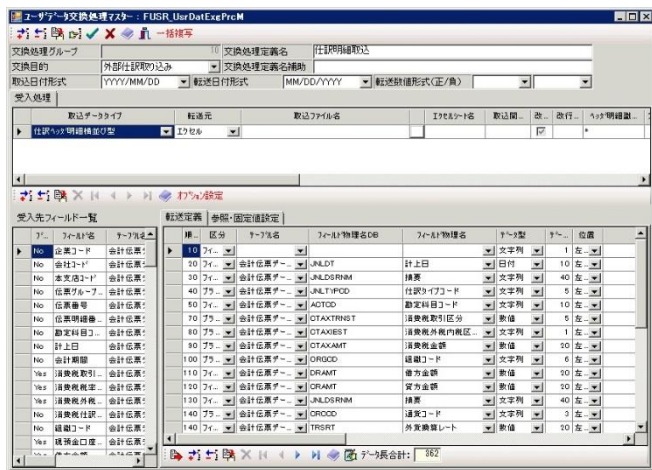
Plaza-i のセキュリティモデル

- 各メニューにアクセスできるユーザをユーザグループで指定することが出来ます。
- 各会計単位(企業、会社、本支店)にアクセスできるユーザをユーザグループで指定することが出来ます。
- あるグループのユーザはそのメニューにアクセスできるが、粗利情報は見せないなど、特定のメニューにおいて、特定のユーザグループに、特定の機能制限をすることが出来ます。

Plaza-i のワークフロー

- Plaza-i のワークフローは、金額区別に承認経路を複数定義できるだけでなく、同一金額区分の中に選択可能な承認経路を登録することも可能です(300万~500万は、課長2人と部長1人、もしくは、部長2人、等)。
- 下位承認者の承認を待つ直列型ワークフローも、職位に拘わらず同時に承認を認める並列型のワークフローもサポートしています。
- 承認者の自動選択、自己承認可否の設定も可能ですので、大規模な組織でも承認者の選択に迷うことはありません。
- 1つの伝票に複数の承認必要事由が発生しうる場合、承認事由別にワークフローを定義することが出来ます。
- 承認者がログオンしたとき、または、指定タイミングで、ダイアログをポップアップする、または、ステータスラインに承認申請件数をカウントアップすることが可能です。

ユーザデータ交換マスター



- Plaza-i では仕訳伝票、債務伝票、受注伝票、入出庫伝票、売上伝票、入金伝票、仕入伝票、仕入付随費用伝票、在庫取引を外部ファイルから受け入れることができます。
- ユーザデータ交換マスターで、外部ファイルの項目と Plaza-i のテーブル項目の関連を定義することができます。
- マスター項目の変換テーブルを登録することも出来ます。

エクセルデータ受入

- Plaza-i の殆どのマスターテーブルは、エクセルからデータを受け入れることが可能です。
- 新規レコードの追加だけでなく、更新処理も可能です。

画面・帳票項目・動作のカスタマイズ



- 画面、帳票の各項目ラベル文字列の変更、非表示設定、帳票タイトルの変更が可能です。
- Plaza-i では、F5 キーがマスター参照キーですが、F5 キーを押したときに、そのマスターのレコードを全件読み込んだ状態で表示するか、大量マスターなので検索条件を指定してから検索するかの指定を、F5 画面毎に設定することができます。

ジョブスケジュール管理

- 一般会計月次更新、債務管理月次更新、各本

締め処理、ユーザ SQL などのバッチ処理をスケジュールジョブにまとめることが出来ます。

- スケジュールの時間指定等はオラクル EM (Enterprise Manager) を利用しますが、①ユーザがバッチ処理の順番を指定し、一つのジョブにまとめられること、②これより月次更新処理直後にユーザ SQL を実行するなどの指定が出来ること、③各バッチ処理のパラメータをユーザが指定することが出来るというメリットがあります。

マイメニュー



- ユーザ毎に良く使うメニューだけを一面にまとめ、簡単に起動させることができます。
- 日次処理、月次処理、報告書等の業務単位で、グループ化することが可能です。また、ボタンにはショートカットキーを割り当てることも可能です。
- さらに、外部ファイルを呼び出すことができますので、業務手順書やノウハウ集等を Plaza-i から呼び出し可能になります。単なる業務管理システムというだけでなく、業務ポータルとして Plaza-i をご利用頂けます。

汎用データ照会

- 任意のデータを抽出し、エクセルへ転送することが出来ます。
- Plaza-i のこのメニューから、SQL 文を発行し、照会結果をグリッドに表示することが出来ます。
- グリッドに表示されますので、Plaza-i の汎用機能であるエクセル転送を利用し、照会結果をエクセルに転送することが出来ます。
- 発行した SQL 文をテキストファイルとして保存し、また、読み込むことが出来ます。
- 発行の都度変更する会計期間などの指定項目はパラメータ化することができますので、エンドユーザでもパラメータをその都度指定することにより、汎用的なデータ照会が可能です。